

令和5年度消費生活推進員 第2回活動報告書(8月～11月分)から

- 今回の啓発活動では、対象が50代後半～70歳代で特に高齢の方からとても良い話が聞けた。騙されないように気をつけたいとの言葉を何人もの方からかけられました。地域の中で色々な方を対象に機会をとらえて啓発活動をしたいと思います。
- ロールプレイングは婦人会の方2名に参加してもらい、役割分担して実施したので分かりやすく興味を持って見ていただけたと思います。
- 市消費生活センター職員が講師として話された「悪質商法にだまされない！」～かしこい消費生活～は、最近、高齢者に被害が多発している①振り込め詐欺②還付金詐欺③架空請求等々、身近に発生した事例を参考にした説明をされていました。あやしい電話やメールに騙されないためには、自分一人では判断せず、家族等に連絡することが重要だと認識させられました。講座終了後、早速通話録音装置貸出申請を希望した人が一名いましたので、手続きの橋渡しを行いました。
- 35年ぶりの中学の同窓会で、高齢者と呼ばれる年になった友に、いただいた折り畳みバックにビンゴゲームの景品を入れ、お互いに悪質なトラブルにあわないように、そしてもし被害にあったら、すぐにバックに書いてある188に相談するよう周知した。
- 8～11月の期間は通常の行事が多くあり、婦人会定例会で啓発はできなかったのですが、役員会においては「定期購入」のトラブルについて、マイライフいしかわを配布して災害に便乗した住宅修理トラブルについて話し合った。
- 今回は、2か所の窓口にマイライフいしかわを置かせていただきました。少しでも啓発活動を続けていきたいと思います。学生の方々にもお伝えできるよう皆様とご一緒させていただけたらと思っています。安心して活動できる範囲内でお伝えしていけたらと思います。
- 最近昼間在宅時に、固定電話へのセールスとして、電力料金の見直しの勧誘が多い傾向にある。また、言葉巧みな健康食品の売り込みの電話も相変わらずあるので、電話の話の内容から情報の収集に努めている。
- 地元の老人会や友人と会を持ちチラシやグッズ等を差し上げて詐欺に注意するよう呼びかけた。
- 10月にイベント会場で啓発活動を行った。悪天候の中、沢山の来場者に啓発グッズやパンフレットを渡し、詐欺被害防止の声掛けをすることが出来た。

- 最近、講座依頼は減少しています。しかし、特殊詐欺の被害ニュースが毎日新聞に載っています。特に 60 代でも被害にあっています。友達や立ち話しの中でも、特殊詐欺の話をして。「電話は留守電」にや、「訪問販売に気を付けるように」といった会話をします。
- 校下での週一回の高齢者対象の体操教室にボランティアとして参加。少しの時間をいただき、悪徳商法の注意喚起の冊子を配りお話しさせていただきました。
- 皆さん結構身近な所での被害、又は被害に至らないまでも話を聞いたことがある人は多いようです。単なる家族間、近所の人たちでの話に終わらず積極的に警察等への相談をするよう呼び掛けました。特に「188」は覚えやすいと復唱していました。
- キャッシュカード詐欺の手口を寸劇で示すことで、被害にあう場面を知ることができたと好評を得ました。話を聞くだけでなく、その手口の場면을視覚に訴えることの大事さを感じました。屋根瓦詐欺の話をするとうちにきていったと答える方がおいででしたが、その方は被害にあってなくてホッ。ところが、違うところで「うちは瓦の被害にあった」という声を聞き残念。もっともっと色々な所で色々な方法で啓発活動をしなくてはなりません。
- コロナ以前の活動ができるようになり、敬老会・生涯学習フェスティバル等他方面への啓発活動ができるようになり、会員自身も活気が出てきた。マンネリ化しないよう工夫しながら活動していきたい。
- 予定していた事業が計画通り順調に進みました。多くの皆様に出席いただいた敬老会では、「寸劇、あなたのキャッシュカードが狙われていますよ」をオリジナルでお届けでき大変楽しんでいただきました。また、学童クラブでは「紙芝居、リサイクルってなあに」を会員で手作りして登場人物も出てくるちょっと変わった試行で見いただきました。金融教育も充実し、私自身も楽しく活動できました。
- 消費生活で何かわからないこと、相談したいことなどがあれば 188 消費者ホットラインに電話してみてくださいねと言ってきましたが、まだまだ知らなかったという人ばかりです。市のラインや市のメールなどでその都度送っているにもかかわらず、そもそもラインやメールの登録をしていない人がたくさんいます。特に市のメールは火事、災害、防災、防犯、観光などあらゆる情報を発信しておりますので、大変便利で助かっています。先日も「市内で年金事務所をかたった還付金詐欺の電話が確認されました」とメールがきました。市役所の次は年金事務所かと思いました。次々と新しい方法でお金をとろうとしており、消費者も新しい情報を知ることが必要だと思いました。「188」と並行してメール・ライン登録も広めていこうと思います。
- 消費者教育担い手育成研修を受講し、講座の企画書の作成を教わりました。

実地研修として、近くのデイケアセンターで2回に分けて悪徳商法についての講座を開催しました。「きっぱり断ります」「188を覚えました」との感想。「皆さんが生き生きして聞かれているのが印象的でした」と施設のスタッフさん。嬉しい言葉です。

- 市社会福祉協会からの依頼で、「消費者トラブルに合わないために」の講座を開設しました。パペットを使って「点検商法」の寸劇をし、対処法やお断り言葉についても説明しました。きっぱりと断わることでトラブルを避けることができること、又、相談窓口等について伝えました。最後に皆で、悪徳商法の替え歌をハーモニカ演奏で歌いました。参加された方も久々の集まりに大変盛り、私たちの思いが伝わった感じです。
- 老人会からの依頼で「消費者トラブルにあわないために」の講座を行いました。会員を巻き込んで「訪問購入」のロールプレイングを行い、訪問購入の手口や対処法について説明しました。不安をあおったり、焦らせたりするときは注意してくださいと告げ、相談窓口を紹介しました。悪徳商法のクイズをして、自分自身をチェックしてもらいました。真剣に聞き入る姿に次への意欲がわきました。
- 8月：町内老人会ふれあいサロンで、送って頂いたパンフレット『気を付けて！悪質商法 あれ？？と思ったらすぐ相談を！』を参加者に配布し、読み合わせを実施した。60名中、37名参加。「毎日、新聞・ニュースに出ている。怖い。気を付ける。」「消費者ホットラインへの相談方法は？」などの意見があり、身近な人への声かけ、注意喚起、ホットラインへの連絡方法等について意見交換でき、より一層の注意喚起ができた。当日参加できなかった方には、後日配布した。
9月：「マイライフいしかわ夏号」町内会の班分け分を追加送付して頂き、回覧した
10月：見守り新鮮情報第460と461をコピーし、町内の各班に回覧した。
11月：町内会老人会ふれあいサロンで、送付して頂いた「だまされない！特殊詐欺対策」のDVDを視聴した。60名中、35名参加。「最近本当に多い。新聞やテレビで何回も出ている。」「親戚の知り合いが被害にあったと聞いた。」「私も引っかかるかもしれないし、注意せんなん。」「分かり易い内容だった。」等と感想が聞かれ、注意喚起ができた。
- 老人会の席で悪質商法のチラシを配布し、実際に近辺で被害のあった事例を市から聞いていたので、話した。
- 瓦の点検商法が区で多々あるやに聞き、地区民生委員にLINEで、一人暮らしの人に注意喚起をお願いした。また、区内に回覧するように、依頼手配した。内容は「瓦がずれているので、すぐ修理しないと大変な事になる」「今、近くの現場で仕事しているので、直しましょうか」など、巧みな言葉で話をしてくるそうです。結構です、知り合いの業者に依頼します等々、はっきり断るよう伝えた。
- 消費生活協力員養成講座を受講しました。改めて、再確認させられる事が多かったです。

今後も、町の担当者の方と相談しながら啓発活動に取り組んでいきたいと思っています。

- 町が実施している、高齢者や中学3年生対象の出前講座に参加。寸劇のナレーション等を担当し、悪質商法の手口と対処法や消費生活相談窓口の紹介をしました。
- 消費者庁開催の消費生活協力員・協力団体養成講座をオンライン受講し、見守り活動のポイントを学びました。
- 最近、買取電話（中には、突然訪問（法律違反））が多く、はっきり断る方もいれば、安易に訪問を了承する方もいました。これはどうしてもトラブルが起こりやすく、家族構成や資産など、その家の情報を集めた名簿も売買され、犯罪に使用されるとも聞きます。買取業者を家内には絶対に招かないこと、近く信用ある店にて取引をするべきと啓発したいと思います。
- 地区の敬老会に便乗させてもらい、特殊詐欺に気を付けるようパンフレットとグッズを配り、啓発活動を行い、婦人会の役員会において消費者トラブルの対処法について話し合い、キッチンタイマーも大変喜ばれました。
町の担当者の方に誘われて地域のサロンに出向き、2、3人で消費者トラブル、還付金詐欺に関するシナリオを読み、実演しました。皆さん大変感心深げに真剣に見ておられ、質問等々もあつたりで、有意義な時間を過ごしました。一人で悩まないように声掛けしました。
- 町内サロンの集まりのときにパンフレットと啓発グッズを配布し、注意を促しています。自宅には不審な電話がかかってくる不安に思うと話す方もいました。
- 「マイライフいしかわ 2023 夏号」を10部送ってくださり、内容が子育て中の保護者にぴったりの情報が載っていたので、放課後子ども教室へ子どもを迎えに来る保護者の方に配布してもらいました。啓発活動に役に立ちよかったです。また、老人向き見守りに役立つ情報もあり、近所の人や高齢者趣味の会に集った方々にお伝えしました。話題が広がり役立ちました。
- 町での降り込め詐欺被害のニュース以降、身近なこととして詐欺の話題に敏感になったように思います。近所での雑談で、「怪しい電話がかかってきたのですぐ切った」等の話が出るようになりました。町の広報誌や有線告知放送、駐在所便り等で繰り返し詐欺要注意が喚起されるようになり、皆さん気を付けていらっしゃるようです。しかし、詐欺の手口が複雑・巧妙になり、ネット上でのトラブルも心配されます。高齢者の多い地区なので、今後地域の福祉推進委員さんや見守りの方たちにもお願いして声掛けをしてもらったり、区長さんに依頼してチラシの回覧で最近の情報発信をしていきたいと思っています。